



PISA

IN FOCUS

12

education policy education policy education policy education policy education policy education policy education policy

少年少女はデジタル時代に備えができてる？

- デジタル読解力で高い成績を収めている生徒の割合は、オーストラリア、韓国、ニュージーランドでは17%を超えているが、これに対してオーストリア、チリ及びポーランドでは3%より少ない。
- 平均で見ると、女子の方が男子よりもデジタル読解力で良い成績を収めているが、男女差はプリント読解力に比べ小さい。
- プリント読解力で同じような習熟度レベルにある男子と女子について、デジタル読解力を比較すると男子の方が女子よりも得点が高い。これは、男子の方がナビゲーション・スキルにおいてよくできているからである。

ICTはただ単に情報の流れを速くしたというだけでなく、情報の伝え方や受け取り方に革命をもたらした。技術革新は今日の労働市場において求められるスキルの種類と、最も潜在的成長の可能性のある仕事の種類に対して、影響を及ぼしている。今日、これらの仕事のほとんどで、デジタル資料から情報を探し出すことに、熟達とまではいかないまでも、ある程度慣れている必要があり、本に記述され、予め順番が決まっているようなテキストを理解するよりも、読んだ内容の構成を読み手自身が決定することが求められているのである。

概して、紙媒体でよく読む生徒は スクリーン上でもよく読む… PISA2009年調査では、15歳児の習熟度を、印刷されたテキストを読んで得た情報を集め、加工すること(プリント読解力)について評価するだけでなく、デジタル資料を読むこと(デジタル読解力)についても評価した。調査結果から、他の国に比べ、生徒たちがデジタル時代に十分参加するための準備がよくできている国があることがわかった。例えば、オーストラリア、韓国及びニュージーランドでは17%を超える生徒がデジタル読解力のトップ・パフォーマーであり、これに対してオーストリア、チリ及びポーランドではトップレベルの生徒が3%未満であった。韓国は近年“スマート・エデュケーション”政策を策定し、2015年までにすべての教科書と評価をデジタル化すること、新しいテクノロジーを備えた学校のインフラ整備を推進すること、これらのテクノロジーが使えるよう教師を訓練することを行っている。

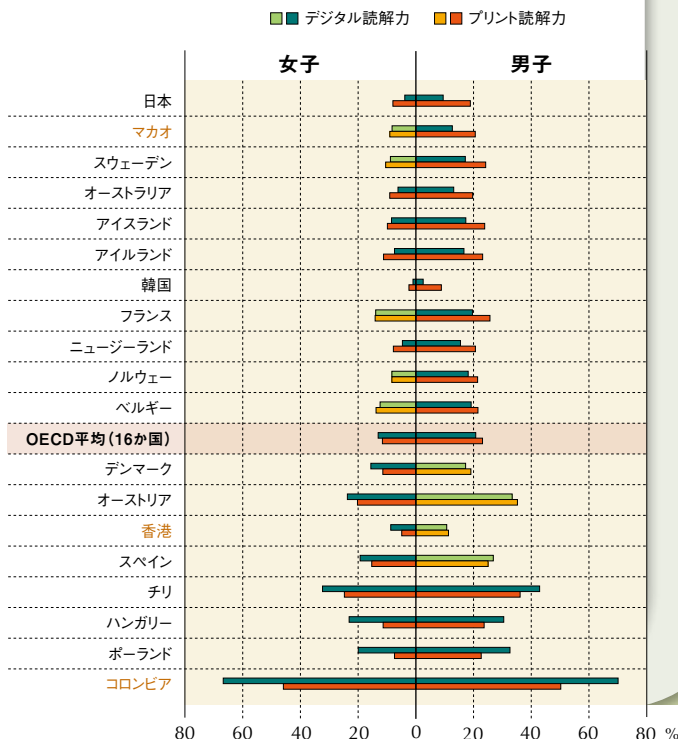
平均的には、生徒の成績はデジタル読解力もプリント読解力も密接な関連があるものの、オーストラリア、韓国では生徒の得点がプリント読解力よりもデジタル読解力の方がかなり高く、他方でハンガリー、ポーランド及び非OECD加盟国のコロンビアはデジタル読解力よりもプリント読解力の方が得点が高い。



PISA

IN FOCUS

デジタル読解力とプリント読解力得点の低い生徒の男女別割合



注: デジタル読解力得点の低い生徒の割合とプリント読解力得点の低い生徒の割合の差が統計的に有意でない場合は、それぞれ黄緑色とオレンジ色で示す。国・地域は、デジタル読解力とプリント読解力で得点の低い男子の割合の差(デジタル読解力-プリント読解力)が大きい順に上から並べている。
 出典: OECD, PISA 2009 Database.
 StatLink <http://dx.doi.org/10.1787/888932436556>

…だが、男女差は **デジタル読解力**における男女のスキルの違いについては、いくつかの興味深い **プリント読解力**よりも小さい。結果が見られる。プリント読解力においてもデジタル読解力においても、女子の方が男子よりも得点が高いが、男女差はデジタル読解力において小さくなる傾向がある。プリント読解力、デジタル読解力の両方の調査に参加したOECD加盟16か国平均でみると、プリント読解力得点で女子の方が男子よりも38点高く、これは1学年度に相当する違いであるが、デジタル読解力得点では男女差は24点である。

この違いは習熟度レベルで見ると最も明らかで、つまり、成績の良い生徒と悪い生徒で明確な違いとなっている。例えば、オーストリア、デンマーク、スペイン及び非OECD加盟の香港では、デジタル読解力得点の低かった女子の割合が、プリント読解力得点のそれよりも多い。しかしながら、オーストラリア、アイスランド、アイルランド、日本、韓国、ニュージーランドでは、デジタル読解力得点の低かった女子の割合は、プリント読解力得点のそれよりも少ない。これに対して、男子は逆の結果が見られる。オーストラリア、ベルギー、チリ、フランス、ハンガリー、アイスランド、アイルランド、日本、韓国、ポーランド、非OECD加盟国・地域のコロンビア、マカオでは、プリント読解力に比べデジタル読解力得点が高い生徒の割合はかなり少ない。

プリント読解力で得点の低い生徒は、読解力における基準となる習熟度に達していない生徒で、見慣れた課題における主なアイデアを認識し、そのような情報と自分の日常生活との結びつきを認識することができる。

デジタル読解力で得点の低い生徒は、通常見慣れた文脈に関連付けられたわかりやすい情報を探し出し、解釈することができ、明確な指示が与えられた状況で、限られた数のサイト間のナビゲーションを行うことができる。



プリント読解力で得点の高い生徒は、情報が競合する状況において、見慣れないアイデアを扱ったり、解釈のための抽象的なカテゴリーをつくりだすことができる。

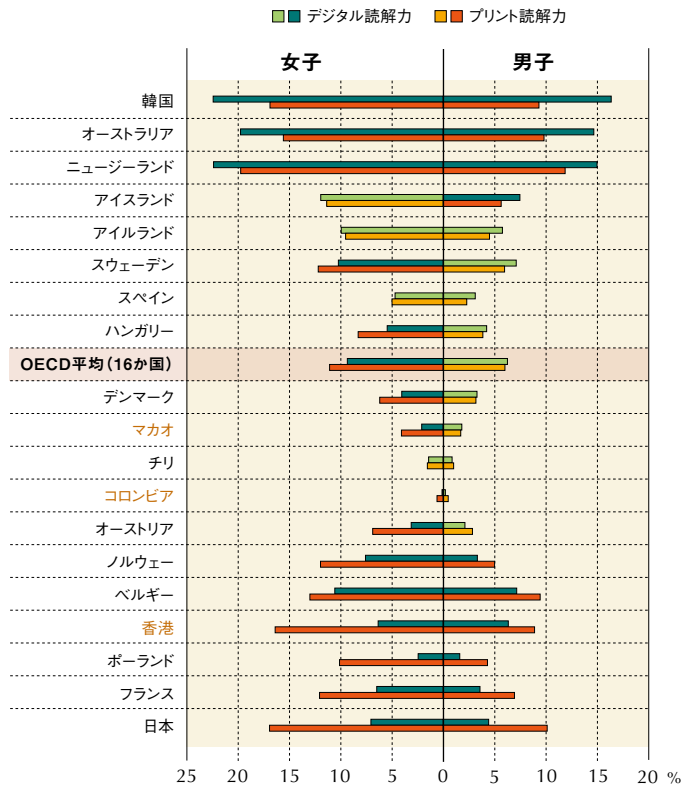
デジタル読解力で得点の高い生徒は、あいまいな状況で、見慣れない文脈における情報を探し出し、分析し、批判的に評価することができ、また、明確な指示がない複雑なサイト間のナビゲーションを行ったり、様々な形式のテキストを扱ったりすることもできる。

プリント読解力に比べ、デジタル読解力で成績の良い女子の割合が少ないため、デジタル読解力得点における男女差が小さいが、このことは、特にオーストリア、フランス、日本、ノルウェー、ポーランド、香港で見られる。対照的に、オーストラリア、韓国、ニュージーランドではプリント読解力よりもデジタル読解力の方で成績の良い女子の割合が多い。

…媒体がデジタルの場合、男子の方が得点が高いことが示唆するものは…

どの国の場合も、成績が良い生徒の割合がプリント読解力よりもデジタル読解力で多いのは、女子ではなくて男子であり、成績が悪い生徒の割合が少ないのも女子ではなくて男子である。

デジタル読解力とプリント読解力で得点の高い生徒の男女別割合



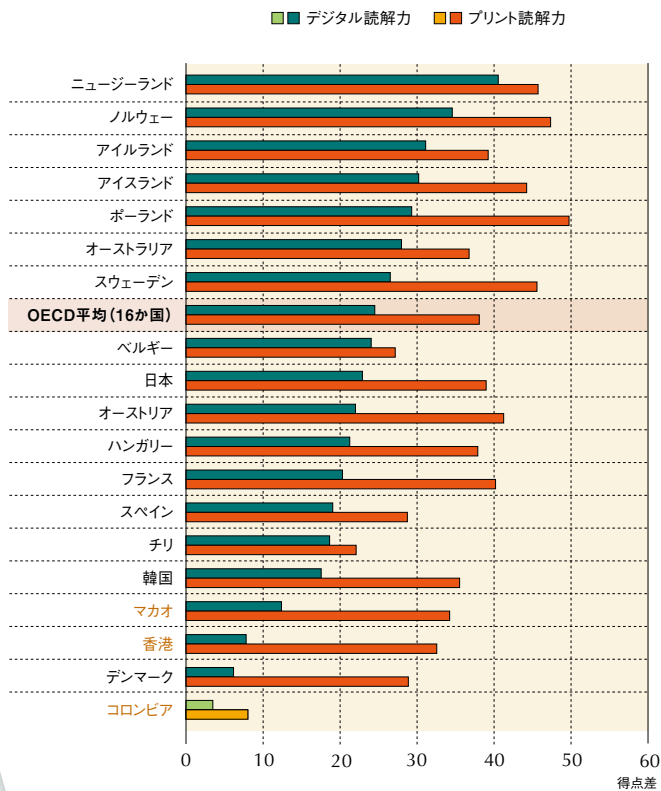
注: デジタル読解力得点の高い生徒の割合とプリント読解力得点の高い生徒の割合の差が統計的に有意でない場合は、それぞれ黄緑色とオレンジ色で示す。
 国・地域は、デジタル読解力とプリント読解力で得点の高い男子の割合の差(デジタル読解力ープリント読解力)が大きい順に上から並べている。
 出典: OECD, PISA 2009 Database.
 StatLink <http://dx.doi.org/10.1787/888932436556>



PISA

IN FOCUS

デジタル読解力得点とプリント読解力得点の男女差の比較



興味深いことに、プリント読解力において同じ習熟度レベルにある男女をデジタル読解力得点で比較すると、男子の方が平均で6点高い。同様にプリント読解力の同じ習熟度の男女をデジタル読解力で見ると、オーストラリア、オーストリア、デンマーク、ハンガリー、アイスランド、韓国、ポーランド、スペイン、スウェーデン、非OECD加盟の香港、マカオは、男子の方が女子よりも5~22点高い。デジタル読解力得点で女子が男子よりも高かったのは、ベルギーのみである。この差は何を示しているのか。1つの説明としては、ハイパーテキストで見られる情報を選択したり、整理したり、あるいはナビゲーションすることが簡単か難しいかの程度は男女で同じではないということが考えられる。

注: デジタル読解力得点とプリント読解力得点の男女差が統計的に有意でない場合は、それぞれ黄緑色、オレンジ色で示す。
 国・地域は、デジタル読解力得点における男女差が大きい順に上から並べている。
 出典: OECD, PISA 2009 Database.
 StatLink <http://dx.doi.org/10.1787/888932436556>

結論: 男子のデジタル読解力における興味や能力は、“好循環”をスタートさせるのに活かせるのではないだろうか。“好循環”とは、デジタルテキストを読む回数が増えてデジタル読解力が高まり、引いてはプリント読解力の成績も高まることともに、楽しみで本を読む生徒の割合も増えることである。親、教師、政策担当者もまた、デジタル読解力におけるナビゲーション・スキルにおいて女子があまり得意ではないことに注目すべきである。生徒達は、これらのスキルがなければ、デジタル時代を切り開くことが困難であることに気づくだろう。

本稿に関するお問い合わせ先
 担当: Sophie Vayssettes (Sophie.Vayssettes@oecd.org)
 出典: PISA 2009 Results: Students On Line: Digital Technologies and Performance (Volume VI)

参考サイト:
www.pisa.oecd.org
www.oecd.org/pisa/infocus

次回テーマ:
「成績はお金をかければ良くなるの?」

本稿の翻訳は、日本のPISAナショナルセンターが担当しました。